

3. 目標設定シート

平成26年度スーパーグローバルハイスクール 目標設定シート

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）								
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(28年度)
自主的に社会貢献活動や自己研鑽活動に取り組む生徒数								
a	SGH対象生徒:		11人	10人	2人	14人	19人	80人
	SGH対象生徒以外:		人	78人	98人	72人	156人	161人
目標設定の考え方: 対象生徒に広く推奨し毎年増加させていく。								
自主的に留学又は海外研修に行く生徒数								
b	SGH対象生徒:		21人	14人	18人	54人	15人	40人
	SGH対象生徒以外:		75人	103人	96人	54人	87人	22人
目標設定の考え方: 生徒の意思を尊重しつつ毎年増加させていく。								
将来留学したり、仕事で国際的に活躍したいと考える生徒の割合								
c	SGH対象生徒:		53%	57.0%	69%	60.3%	74.8%	100%
	SGH対象生徒以外:		%	94%	46%	50.0%	46%	54.2%
目標設定の考え方: 生徒全員のメンタリティを涵養すべきもの。								
公的機関から表彰された生徒数、又はグローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における入賞者数								
d	SGH対象生徒:		6人	1人	1人	5人	5人	20人
	SGH対象生徒以外:		人	51人	43人	10人	50人	43人
目標設定の考え方: できるだけ多くの機会をとらえて毎年増加させていく。								
卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合								
e	SGH対象生徒:		%	%	32%	46%	41%	70%
	SGH対象生徒以外:		17%	36%	13%	26%	26%	32%
目標設定の考え方: 伝統的な教授法にTOEFLを活用しながら実力をアップさせる。								
(その他本構想における取組の達成目標)								
f	SGH対象生徒:							
	SGH対象生徒以外:							
目標設定の考え方:								

1' 指定4年目以降に検証する成果目標								
	24年度	25年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	目標値(31年度)
国際化に重点を置く大学へ進学する生徒の割合								
a	SGH対象生徒:		59.09%	%	%	%	%	60%
	SGH対象生徒以外:		39.80%	44.40%	43.80%	%	%	50%
目標設定の考え方: 現役進学率のアップ及び国際化に重点を置く大学への進学者増をめざす。								
海外大学へ進学する生徒の人数								
b	SGH対象生徒:		0人	0人	人	人	人	20人
	SGH対象生徒以外:		1人	0人	1人	2人	人	人
目標設定の考え方: 生徒の限らない可能性を導くべくダイレクト入学を推奨する。								
SGHでの課題研究が大学の専攻分野の選択に影響を与えた生徒の割合								
c	SGH対象生徒:		22.14%	15.50%	%	%	%	100%
	SGH対象生徒以外:		-	-	12.92%	15.18%	%	%
目標設定の考え方: 生徒全員に影響力を及ぼすカリキュラムの充実を目指す。								
大学在学中に留学又は海外研修に行く卒業生の数								
d	SGH対象生徒:		55人	68人	人	人	人	80人
	SGH対象生徒以外:		-	-	112人	126人	人	人
目標設定の考え方: 高校時代に海外研修等を通じて留学に現実感を持たせる指導を進める。								

2. グローバル・リーダーを育成する高校としての活動指標（アウトプット）								
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(28年度)
課題研究に関する国外の研修参加者数								
a	0人	0人	85人	59人	83人	78人	108人	40人
目標設定の考え方: 毎年40人程度を対象とする。								
課題研究に関する国内の研修参加者数								
b	0人	0人	311人	411人	351人	367人	290人	40人
目標設定の考え方: その他の課題研究と関連付けて増加させる。								
課題研究に関する連携を行う海外大学・高校等の数								
c	0校	3校	8校	8校	9校	6校	7校	10校
目標設定の考え方: 毎年新たな開拓を進めつつ、既存分を充実させる。								
課題研究に関して大学教員及び学生等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)								
d	0人	20人	96人	40人	64人	81人	78人	150人
目標設定の考え方: 研究内容に応じて幅を広げていく。								
課題研究に関して企業又は国際機関等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)								
e	0人	3人	22人	22人	9人	28人	61人	30人
目標設定の考え方: 研究内容に応じて幅を広げていく。								
グローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における参加者数								
f	0人	0人	49人	40人	46人	72人	40人	40人
目標設定の考え方: 生徒のモチベーションを高めつつ毎年増加させていく。								
帰国・外国人生徒の受入れ者数(留学生も含む。)								
g	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	10人
目標設定の考え方: 受け入れ態勢を整え、進んで受け入れていく。								
先進校としての研究発表回数								
h	0回	0回	4回	2回	5回	4回	17回	10回
目標設定の考え方: 質・回数の充実の両立を図る。								
外国語によるホームページの整備状況								
i	○整備されている △一部整備されている ×整備されていない							
	△	△	○	○	○	○	○	○
目標設定の考え方: 更新回数を増やし内容の充実を図っていく。								
j								
目標設定の考え方:								

<調査の概要について>

1. 生徒を対象とした調査について

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全校生徒数(人)	965	963	997	997	996	998	999
SGH対象生徒数			40	56	44	69	84
SGH対象外生徒数			957	941	896	885	915